

破天荒

教宣部

5015号

2016年
11月 2日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

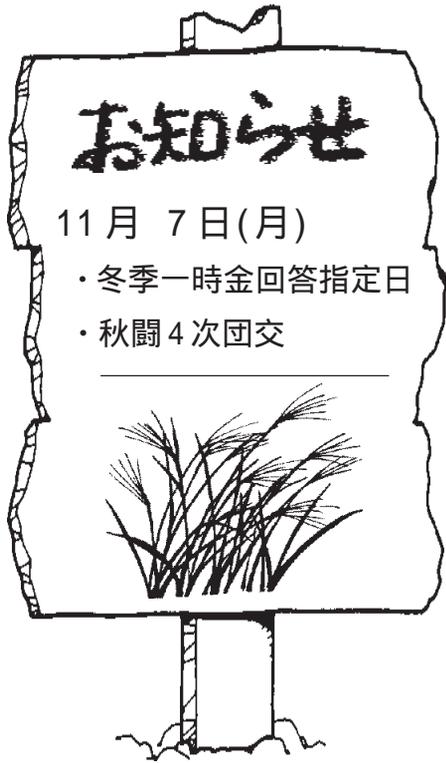
有給休暇は 労働者の権利

「年休」「有給」「有休」と名前がありますが、正式には「年次有給休暇」と言います。労働基準法第三十九条で定められた労働者のための賃金が保障された休暇です。

低い取得率

竹中電子・システム・オプト三社平均の有給休暇取得率は約四 %です。電子非組合員では約三 %と超低いレベルです。世間は約五 %弱ですから世間比劣っている若干ブラック企業です。

- ・ 休暇を取ると仕事が溜ってしまふ。
- ・ 休暇を取る理由をしつこく聞かれる。
- ・ 三日前までに届け出ない



11月 7日(月)

- ・ 冬季一時金回答指定日
- ・ 秋闘4次団交

と取れないと言われる。

・ 職場に休暇を取りづらい雰囲気が出ている。など、風の便りで聞こえてきます。エンジ化推進の中で休暇を取得させない方針があるのではと疑っています。

努力しない会社

会社は有給休暇の取得率を上げる施策を何もやっていません。秋闘では、休暇の繰り越しを二年間にするのと、積立制度(六 日間)の新設、時間単位取得を要求し、育児や介護に利用しやすく、破棄される休暇が減らせることを求めています。が、現状のままという回答です。

休暇を取るために



有給休暇を堂々と取得しましょう。まず「有給休暇は労働者が自由に取り、自由に利用できる権利・法律上当然に労働者に生じる権利」ということを覚えてください。

有給休暇の目的は、労働者の心身のリフレッシュを図ることですが、休暇をどう利用するかは自由です、会社は休暇の理由によって休暇を与えなかつたりすることはできません。

理由はいらない

有給休暇を取得する理由について提示することを強制はできません。理由を提示させること、理由によって申請を却下することは労働基準法違反になります。

休暇取得を理由に不利益な扱いも禁止されています。会社は労働者が有給休暇を申し出た場合、原則として受け入れなければならぬのです。しつこい理由を聞く上司はパワハラで嫌がらせをしているだけです。

時季変更権が会社にはあり

ますが、竹中では余程でないとい行使できないと思われるます。

届出用紙

有給休暇届には本来は理由を記す必要が全くないのですが、トラブルのモイヤですので届出用紙の理由欄には「私用」と書くことで全従業員、意志統一です。

雰囲気づくり

有給休暇は権利やし、理由を言う必要はないし、好きなときに取つたらいいのですが、現在の低い取得率の背景には職場に自由な雰囲気がないことが一つの要因としてあります。エンジ化に負けず、日頃から仕事はまじめに、休暇は気持ちよく取得できる雰囲気づくりが必要です。

また、三日前迄の原則を守ることは基本ですが、急用による当日連絡での休暇取得も当然あります。法律的には全く問題はありませぬ。職場の仲間には迷惑が掛かる心の痛みは、普段から協力し合える職場環境を作っていくことで解消できると思います。

福利厚生一泊旅行

先日の土・日、私たちのグループは湯村温泉に旅に出かけました。湯快リゾートを利用、宿まで京都駅からバスが送迎してくれました。バス代、宿泊代、夕食(飲み放題)・朝食付きで一人一万三千元程度でした。帰りはJRを利用(六千円程度)合計一万九千円で宿泊・交通費が済みました。

会社から旅行補助金として一人三万円の補助が出ますので残金の一万一千円です。日の昼食を豪華にしました。小人数なので小回りが利く分、ネットで調べた人気の店や地元の方にきいた一番美味しい寿司屋で過ごしました。

福利厚生旅行は四人以上の参加者があり、その中で一人は正社員または甲種嘱託社員が含まれれば成立します。

旅行の参加者を増やそうとグループ旅行形式を探っています。この制度を利用してもっと多くの人が旅行に出て、お互いの交流を深めましょう。

